

一般社団法人 岩の力学連合会
2019年度 第2回理事会 議事録

日時	起案 2019年11月1日	場所	乃木坂ビル 4F (資源・素材学会会議室)
----	---------------	----	-----------------------

理事会	理事	伊藤高敏	○	理事	西山竜朗	○	理事	芥川真一	×
	理事	坂口清敏	○	理事	藤井幸泰	×	理事	西山 哲	×
	理事	佐藤 晃	○	理事	土屋光弘	○	理事	岡田哲実	○
	理事	林 為人	○	理事	森岡宏之	○	理事	横尾 敦	×
	理事	下田直之	○	理事	砂金伸治	×	理事	上田日出男	○
	理事	木崎彰久	○	理事	安原英明	S			
	監事	細野高康	×	監事	早川博之	○	ISR M 役員	清水則一	
賛助会員特 別会議 ^{注1)}	奥野哲夫	○	ILC 委員 会 ^{注2)}	京谷孝史	×				

注1) 正式名称：賛助会員特別会議・運営企画特別委員会

注2) 正式名称：ILC 研究企画特別委員会

敬称略順不同，○：出席，S：スカイプ参加，×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料	頁
資料 2019 理事 01-01	連合会役員名簿 (2019-2020 年度)	1
資料 2019 理事 01-02	2019 臨時理事会 (5/31 総会時) 議事録	2
資料 2019 理事 01-03	第1回常任理事会 (8/7) 議事録	3
資料 2019 理事 01-04	会員の入退会	8
資料 2019 理事 01-05	定款による理事会のアクション	11
資料 2019 理事 01-06	理事会，常任理事会および三役会議運営規則	14
資料 2019 理事 01-07	将来構想 2016	16
資料 2019 理事 01-08	編集委員会報告	24
資料 2019 理事 01-09	賛助会員特別会議・運営企画特別委員会報告	27
資料 2019 理事 01-10	国際会議 YSRM2019&RIEF2019 開催準備状況報告	47
資料 2019 理事 01-11	定款内での用語について	57
資料 2019 理事 01-12	岩盤力学に関するシンポジウムでの連合会特別セッション	74
資料 2019 理事 01-13	火山 WS 開催とその準備状況	75
資料 2019 理事 01-14	岩の力学国内シンポジウム開催依頼及び開催履歴	90

【審議および報告事項】

1. JSRM 役員名簿の確認（資料 2019 理事 01-01）
資料によりメンバーを確認するとともに自己紹介を行った。
2. 2019 臨時理事会（5/31 総会時）議事録の確認（資料 2019 理事 01-02）
2019 年 5 月 31 日の岩の力学連合会社員総会時に開催された臨時理事会の議事録が確認され承認された。臨時理事会時に定款の中での用語について質疑があった件について、具体的内容については下記 11 項に示す。
3. 第 1 回常任理事会（8/7）議事録の確認（資料 2019 理事 01-03）
2019 年 8 月 7 日に開催された常任理事会の議事録が確認され、案通り承認された。
4. 会員の入退会確認（資料 2019 理事 01-04）
会員の入退会状況、長期の年会費滞納者の確認を行った。退会者については、可能な限り退会の慰留をお願いすることとした。
長期滞納者については、既に学生会員ではないと考えられる学生会員、外国人会員で既に帰国した会員、個人的な事情など、滞納の原因が分かる方については退会扱いとすることとした。また、定款では 2 年以上の会費滞納は退会扱いとするという規定があることから（定款 12 条 (6)）、長期滞納者の取り扱いについて議論がなされた。その結果、現在、長期滞納者としてリストアップされている方々には再度会費納入の督促を行い、会費納入がない場合には退会扱いとすることとした。また、2 年の会費滞納者についても、次回の理事会以降確認することとした。
会費の口座引き落としが可能かどうかについて、事務局と相談することとなった。
5. 定款による理事会のアクションの確認（資料 2019 理事 01-05）
資料の通り、内容の確認を行った。
6. 理事会、常任理事会および三役会議運営規則の確認（資料 2019 理事 01-06）
資料の通り、内容の確認を行った。
7. 将来構想 2016 の確認（資料 2019 理事 01-07）
資料の通り、確認を行った。資料では表題に「（案）」が残っているが、既に承認された内容であるのでこれを削除することとした。
「将来構想 2016」のなかで、いくつかの提言がなされており、賛助会員特別会議運営企画委員会の創設などすでに提言を実現した項目もあるが、依然、提言について検討がなされていない項目があることが確認された。これらについては、まず三役で実現可能性を検討し、常任理事会および理事会の中で検討していくこととした。
8. 編集委員会報告（資料 2019 理事 01-08）
西山（竜）理事より、資料の通り編集委員会の活動内容が報告された。
過去の「岩の力学ニュース」の pdf 化とウェブ上での公開に向けての作業について質問があった。pdf 化は既に終えて RockNet 委員会の元であり、公開に向けて作業が進行中であることが確認された。
9. 賛助会員特別会議・運営企画特別委員会報告（資料 2019 理事 01-09, 当日配布資料）
賛助会員特別会議代表の奥野氏より、別途配布された別紙資料を含めた資料の通り、賛助会員特別会議・運営企画特別委員会の活動内容が報告された。主な内容としては、本年度は 11 月 27 日に賛助会員特別会議が開催予定であり、伊藤理事長および坂口副理事長が参加予定であることが報告さ

れた。昨年度実施された岩盤工学基礎講座の開催状況についても報告があり、11月開催の賛助会員特別会議ではこの基礎講座に関するアンケートも実施される予定である事が報告された。

10. 国際会議 YSRM2019&RIEF2019 開催準備状況報告 (資料 2019 理事 01-10)

安原理事より、12月1日～4日に開催予定の国際会議 YSRM2019&RIEF2019 の準備状況が報告された。主な内容としては、本会議では最終的には175件の Extended abstracts が採択された事が報告された。また、現時点では参加申し込み者数が当初見込みよりも少ないことから、積極的な参加及び事前登録を広く勧めて欲しいとの依頼があった。

11. 定款の中での「選任」と「選定」の使われ方について確認 (資料 2019 理事 01-11)

幹事長が「選任」と「選定」用語の定義と使用方法を確認した。その結果、それぞれ以下のような定義であった。

選任： 特定の地位や任務に就かせるために人を選ぶこと

選定： 選任された人の中から、さらに人を選ぶこと

この定義に従い、定款の中では両用語は適切に使われている事を確認した。

12. 「岩盤力学に関するシンポジウム」での連合会特別講演セッションに関する報告 (資料 2019 理事 01-12)

資料の通り、岩盤力学に関するシンポジウム開催期間中の1月9日に本連合会特別講演セッションを開催することが報告された。講師は地熱エンジニアリングの梶原竜哉氏、坂口清敏理事が担当することが報告された。

13. 第5回火山地域の応用地質と岩の力学に関する国際ワークショップ開催とその準備状況 (資料 2019 理事 01-13)

資料の通り、2021年開催予定の「第5回火山地域の応用地質と岩の力学に関する国際ワークショップ」について、その開催に至る経緯と現在までの準備状況が報告された。

14. 2021年開催予定の岩の力学国内シンポジウム開催依頼および韓国とのジョイントシンポジウムの開催の可能性について (資料 2019 理事 01-14, 別紙資料)

別途配布された別紙資料を含めた資料の通り、2021年開催予定の岩の力学国内シンポジウムに関する準備状況が林理事より報告された。現在まで、関西大学の楠見晴重先生が実行委員長を、同じ関西大学の小山倫史先生が幹事長を引き受けて下さることを内諾頂いたことが報告された。

また、林理事より今後の大まかな動きと連合会の役割についても提言があった。実行委員長および幹事長が正式に決定した後実行委員会が組織される事になるが、これまでは、シンポジウム開催の幹事学会から3名、連合会の他の3学会より2名ずつ選出されている場合がほとんどである事が報告された。したがって、実行委員会メンバー構成について実行委員会の委員長と幹事長に協力しつつ、基本的には本連合会の理事の中から、理事選出の母体となる学会を代表して実行委員会のメンバーになる案で検討していくこととなった。また、開催は2021年1月の予定であるが、例年同時期に開催されている土木学会主催の「岩盤力学に関するシンポジウム」は単独では開催しない旨森岡理事より報告があった。

開催まで1年半程度である事から、実行委員会と本連合会理事会が密に連携をとり準備を進めていくことが確認された。

本シンポジウムでは、韓国の ISRM national group のメンバーとともにジョイントシンポジウムを開催してきた経緯があるが、日韓ジョイントシンポジウムの形をとるかどうかについては、

12月に開催予定の YSRM2019&RIEF2019 の機会を通して、韓国側グループと開催の可能性について協議することとなった。

15. 2019 Rock Dynamics Summit in Okinawa 収支決算について (別紙資料 (予定))

当日配布の別紙資料の通り、伊藤理事より 2019 Rock Dynamics Summit in Okinawa 収支決算が報告された。赤字となることなく、連合会から支出していた準備金も全額返却されることが確認された。また、ハードカバー版の **Proceedings** を予定通りに出版して参加者および関係者に配布する予定である事が報告された。

16. 賛助会員向け岩盤工学基礎講座について

賛助会員向け岩盤工学基礎講座の実施に向けて内容の確認を行った。具体的には、本年度も実施時期および実施方法としては昨年度と同様とし、1月末から3月にかけての開催と、1回当たり90分の講義を5テーマ程度準備することが確認された。本基礎講座については木崎理事が全体のとりまとめを行うことが報告された。また、講師は藤井理事（2テーマ）、林理事、安原理事、佐藤幹事長の4名で調整することが確認された。

17. その他

- 1) 本連合会 **Website** の情報が更新されていない旨が指摘された。理事長挨拶を含め、確認の後最新の情報にアップするように **RockNet** 委員会に依頼することとした。
- 2) 本連合会の名称「岩の力学連合会」について名称の変更について検討してはどうかという案が上がった。一方、本連合会の名称変更の必要性がないとする意見があることから、英語の名称を含め、まず三役で検討し、次年度の社員総会にむけて理事会でも検討することとした。
- 3) 理事会の回数の数え方について、理事会のメンバーが変わってから最初の回を1回目としてはどうかとの何が出されたが、当面はこれまでを踏襲し、年度内に開催された順番に回数を付与することとした。

以上